

# 崇徳興仁



SOTOKU

同窓会だより

NO.  
23

2011年(平成23年)11月11日 崇徳学園同窓会本部発行 崇徳学園同窓会ホームページ <http://www.soutoku-ob.net>  
 崇徳学園同窓会事務局 / 〒733-8511 広島市西区楠木町4丁目15番13号 TEL(082)237-9331 FAX(082)230-2897



▲ 現在地(楠木)に復帰、復興した校舎。中央が旧講堂を改修した校舎。(昭和22年 春)

今年1月16日は、浄土宗の開祖親鸞聖人の750回大遠忌にあたり、西本願寺では聖人の遺徳を偲ぶ法要が行われ、本願寺では聖人の教えを継ぐべき精神として、1875(明治8年)に創設された本校は、創立136年目を迎えました。1875(明治8年)の創立以来、時代は変わりましたが、本校は創立された以来、常に時代の先頭を走り、先進各国で政治・社会が変革を遂げ、文化の発展が著しい時代を迎えています。時代は変わりますが、本校は創立された以来、常に時代の先頭を走り、先進各国で政治・社会が変革を遂げ、文化の発展が著しい時代を迎えています。時代は変わりますが、本校は創立された以来、常に時代の先頭を走り、先進各国で政治・社会が変革を遂げ、文化の発展が著しい時代を迎えています。

## CONTENTS

- 大会会長あいさつ……………(P.2)
- 高橋理事長あいさつ……………(P.2)
- 吉田校長あいさつ……………(P.3)
- 同窓会この一年……………(P.3)
- 今年度の合格状況……………(P.4)
- 中学校トピックス……………(P.4)
- 全国大会出場のクラブ紹介……………(P.5)
- 支部だより……………(P.5)
- 世界に飛躍する同窓生……………(P.6)
- 崇徳祭……………(P.6)
- Pick Up同窓生……………(P.7)
- 頑張っています文化部……………(P.8)
- がんばれ!崇徳健児……………(P.8)

崇徳学園同窓会の最新活動状況は崇徳学園ホームページで。  
 崇徳学園同窓会 で 検索 して下さい。……………[www.soutoku-ob.net](http://www.soutoku-ob.net)

# 同窓としてのつながり

崇徳学園同窓会会長

大本和則 (昭和44年卒)



本年8月秋田市で開催された全国高等学校総合体育大会柔道競技大会において個人100kg超級に出場した飯田健伍さんが優勝され、4月静岡市で開催された全日本カデ体重別選手権大会において81kg級に出場した野乃内悠真さんが優勝されました。  
また、春の選抜、夏のインターハイ、山口国体に多くのクラブが出場し、上位入賞を果たされています。

そして10月28日付の中国新聞の夕刊に崇徳高校出身である柔道の世界無差別級選手権出場の上川大樹さんの記事とカープの前2軍監督の山崎隆造さんの記事が並んで掲載されていました。  
生徒の皆さんの活躍やOBの皆さんの活躍は、同窓として本当に嬉しく、誇らしく思います。

3月11日に発生した東日本大震災、福島第一原発による放射能問題は今後日本の進むべき方向について考えさせられるとともに、私たちは何を大切にして生きていくのかについて問われています。  
人と人とのつながりの大切さも言われています。そのような中において同窓としてのつながりということも大切にしていきたいと思っています。  
昨年設置しました総務、財務、広報、親睦の各委員会は、本年度に入り、同窓会総会、懇親会の充実を含め、一人でも多くの会員の皆様に同窓会活動に参加していただけるような方策について検討を重ねています。会員の皆様の積極的な参加をよろしくお願い致します。

## 崇徳学園同窓会役員名簿(二〇一〇年度)

会長	本和則	(S44年卒)	副会長	河野敏	(S55年卒)
副会長	森大	(S31年卒)	副会長	野誠	(H3年卒)
副会長	松永	(S41年卒)	副会長	成晃	(H5年卒)
副会長	永藤	(S42年卒)	副会長	昇成	(S46年卒)
副会長	齋藤	(S44年卒)	副会長	彦隆	(S49年卒)
副会長	山知	(S47年卒)	副会長	夫幸	(S49年卒)
副会長	山本	(S51年卒)	副会長	幸夫	(H2年卒)
副会長	片山	(S51年卒)	副会長	幸夫	(H2年卒)

副会長	河野敏	(S55年卒)	副会長	野誠	(H3年卒)
副会長	野誠	(H3年卒)	副会長	成晃	(H5年卒)
副会長	成晃	(H5年卒)	副会長	昇成	(S46年卒)
副会長	昇成	(S46年卒)	副会長	彦隆	(S49年卒)
副会長	彦隆	(S49年卒)	副会長	夫幸	(S49年卒)
副会長	夫幸	(S49年卒)	副会長	幸夫	(H2年卒)
副会長	幸夫	(H2年卒)	副会長	幸夫	(H2年卒)

# 崇徳教育の真価が輝く時代です

崇徳学園理事長

高橋乗宣 (昭和33年卒)



昨秋に刊行した拙著で、2011年はソブリン恐慌の年という造語を提示したのですが、世界はまさしくその様相を呈しています。北アフリカ・中東では民主化革命の嵐が吹きすさび、欧米先進国では財政問題が著しく深刻化しています。超先進国ともいべきイギリスにおいてすら暴動が多発し、鎮静化に苦慮するありさまです。アメリカの財政も深刻で、国債格下げを契機に株価はリーマンショックいらいの大幅な騰落を繰り返しています。また、天変地異も激発しています。なかでも、日本の東北・関東を襲った大激震は、まさしく未曾有の災難を惹起しました。紀伊半島を中心に、台風豪雨の被害もまことに深刻でした。同窓の皆さまにおかれましても、ご関係の方が震災や豪雨禍に被災されてはいないだろうかと懸念しております。そうした方々に対しましては、あらためて、衷心よりお見舞い申し上げます。

震災を考慮して、今春に予定されていた高校スポーツの全国大会はほとんどが中止となり、8種目に出場予定であった崇徳の各チームも栄えある機会を逸することになってしまいました。しかし夏のインターハイには、10種目の競技で県代表をつとめ、面目躍如たるものを示しております。

東北関東を襲った大震災に際して、世界中のメディアが、日本人の冷静さ、規律正しさ、思いやりの心、助け合いの心、に強い感銘を受け、感嘆の思いを込めて報道していました。容赦なくグローバル化が進む今日の時代にあつて、こうした人材こそが最も重要で、世界に誇れる日本の社会的資源だと思えます。

崇徳教育の理念は、まさにそうした人材を育成することにあります。浄土真宗の教義に基づき、文武両道において高水準の教育実現を目指す崇徳学園の伝統的な教育理念は、136年に及ぶ伝統の中でしっかりと培われ、今日も脈々と受け継がれているのです。

こうした崇徳教育を今後とも引き継ぎ、完遂していくためには、理事会はもとより、教職員、OB諸氏の一致した取り組みが不可欠です。教職員の皆さんには今後とも一層のご研鑽をお願いいたしますとともに、同窓の方々には物心両面においてさらなるご支援を賜りますよう、心より期待しております。

# 二葉山万古に繁く

崇徳中・高等学校長

吉田 義 視



同窓会で、あるいはクラス会で、崇徳〇Bのみなさまは大声を張り上げてこの歌詞を懐かしそうに歌われます。また近年は、PTA主催の教員と保護者の地区ごとの懇談会「地区懇」でも、校歌が歌われる機会が多くなりました。

広島を離れていらつしやる方にとっては、月日の経過とともに郷愁の思いは強まってゆくことでしょうか。地元におられるみなさまにとっても、若かつた頃の、未来に向かつてグレイと我が人生を押し開いていった頃の思い出は、この校歌によっていつそう鮮やかに蘇ることでしょう。太田川千載清し……

さて、昨年から今年にかけての崇徳は諸方面でなかなか好調でした。今春の大学合格は不振の昨年を挽回し、続く生徒募集も中学校が予定数を下回ったものの、高校は好調の昨年をさらに上まわり四三九人の新入生を迎え入れることができました。この両者には大きな関連があり、あたかも鶏と卵の関係に当たります。学力レベルを維持して多数の入学生徒が確保できたことは、この広島で、本校が世間からいたかく良好な評価の結果であると、本当にありがたい嬉しく思うところでございます。部活動も例年にも増して活発でした。グリークラブは昨年定期演奏会四十回を数え、今年も学校行事のみならず各方面からの出演要請が立て込むほど好評をいただいています。スポーツクラブは春の選抜へ六クラブ（ただし東日本大震災のため四競技は中止）、北東北で開催された夏のインターハイへ十クラブ、山口の「おいでませ国体」へは七クラブが出場しました。他校にはない状況です。そして今年、インターハイ柔道百kg超級で三年生の飯田健伍くんが優秀を勝ち取り、全国チャンピオンになりました。

この半年来、大震災の被害に遭われた会員のみなさまや有縁のみなさま、また多くの被災者の方々が懸命に頑張つていらつしやいます。一日も早い復興を念じます。また亡くなられた方々には衷心よりの哀悼を捧げます。二葉山万古に繁く……、現役生たちが行事の時に歌う声には元気がありません。グリーの声だけが聞こえています。全員が大きな声で、と先生方にご指導をお願いしています。母校では事ある毎に、校歌が高らかに響く努力を傾けながら、今年度後半に邁進したく思います。同窓生諸兄の万端への一層のご支援をお願いしてご挨拶とします。

## 同窓会(一)の一年

- 【2010(平成22)年】
- 11月3日 崇徳祭
  - ◇わた菓子・ポップコーン・スリムフラタールの販売
  - ◇落語(古今亭菊丸) マジック(RYU)
  - 上川大樹世界柔道選手権大会
  - 無差別級優勝祝賀会
  - (リ)ガロイナルホテル広島
  - 11月12日 2010年度同窓会総会及び懇親会
  - (ANAクラウンプラザホテル広島)
  - ◇2009年度活動報告・決算
  - ◇2010年度予算
  - ◇副会長の退任、副会長、幹事の選任について
  - 11月28日 報恩講
  - ◇(大本会長・森正副会長・河野副会長)
  - 12月9日 第1回正副会長会議(広島国際ホテル)
  - ◇新田副会長の引き継ぎ
  - ◇2010年度同窓会懇親会の反省と今後の課題について
  - ◇協賛広告者の同窓会HPへの掲載について
  - ◇委員会の運営について
  - 【2011(平成23)年】
  - 1月5日 全国高校選抜大会応援(パレオホール)
  - (東京・6日まで) 森正副会長、田部事務局
  - 1月28日 第2回正副会長会議
  - (広島パシフィックホテル)
  - ◇2010年度同窓会懇親会決算報告
  - ◇委員会の運営について
  - 2月10日 第3回正副会長会議
  - (ANAクラウンプラザホテル)
  - ◇2010年度同窓会懇親会収支決算報告について
  - ◇委員会の運営について
  - 2月15日 第1回幹事会(崇徳学園会議室)
  - ◇2010年度同窓会懇親会収支決算報告について
  - ◇委員会の運営について
  - 2月28日 崇徳高等学校卒業生表彰式
  - (崇徳学園体育館)
  - 「クラブ活動優秀者表彰」(大本会長)
  - 3月1日 崇徳高等学校卒業式(崇徳学園会議室)
  - (大本会長・森正副会長・齊藤副会長・鶴副副会長)
  - 3月2日 第4回正副会長会議(崇徳学園会議室)
  - ◇2010年度同窓会懇親会収支決算報告について
  - ◇幹事の辞任について
  - 3月8日 第5回正副会長会議(崇徳学園会議室)
  - ◇2010年度同窓会懇親会収支決算報告について
  - ◇委員会の運営について
  - 3月8日 第2回幹事会(崇徳学園会議室)
  - ◇2010年度同窓会懇親会収支決算報告について
  - ◇委員会の運営について
  - 3月27日 近畿崇徳会(大阪・大成閣)
  - (吉田校長、大本会長、田部事務局)
  - 4月8日 第64回崇徳高等学校入学式
  - (崇徳学園体育館)
  - (大本会長・森正副会長・齊藤副会長・鶴副副会長)
  - 第65回崇徳中学校入学式
  - (崇徳学園講堂 森正副会長・河野副会長・鶴副副会長)
  - 4月8日 第6回正副会長会議(崇徳学園会議室)
  - ◇2010年度同窓会懇親会収支決算報告について
  - ◇幹事の辞任について
  - 4月11日 第3回幹事会(崇徳学園会議室)
  - ◇委員会の運営について
  - 4月22日 崇徳学園歓迎会(広島方1デンパレス)
  - (森正副会長・齊藤副会長・河野副会長・鶴副副会長)
  - 5月21日 開校記念式
  - (齊藤副会長・河野副会長・鶴副副会長)
  - 6月18日 PTA同窓会懇親会(広島国際ホテル)
  - 7月8日 関東支部総会
  - (東京・ホテル機山館(大本会長・田部事務局)
  - 8月6日 原爆忌
  - (大本会長・森正副会長・清水監査)
  - 8月25日 第7回正副会長会議(崇徳学園会議室)
  - ◇2011年度同窓会懇親会・懇親会の運営について
  - ◇崇徳祭について
  - ◇パンフレットについて
  - 9月9日 役員懇親会(海軍さんの麦酒)
  - 9月15日 第4回幹事会(崇徳学園会議室)
  - ◇2011年度同窓会懇親会・懇親会の運営について
  - ◇崇徳祭について
  - 10月3日 第8回正副会長会議(崇徳学園会議室)
  - ◇2011年度同窓会懇親会・懇親会の運営について
  - ◇崇徳祭について
  - 10月10日 第5回幹事会(崇徳学園会議室)
  - ◇2011年度同窓会懇親会・懇親会の運営について
  - 10月12日 崇徳中学校運動会(山本副会長)
  - 同窓会奨学生採用伝達式(大本会長)
  - 10月24日 第9回正副会長会議(崇徳学園会議室)
  - ◇2011年度同窓会懇親会・懇親会の運営について
  - ◇崇徳祭について
  - ◇同窓会奨学生採用について
  - ◇第6回幹事会(崇徳学園会議室)
  - ◇2011年度同窓会懇親会・懇親会の運営について
  - ◇崇徳祭について
  - ◇同窓会奨学生採用について
  - その他必要に応じて各委員会を開催しました。
  - 11月1日 崇徳同窓会会計監査(崇徳学園理事長)
  - (清水/中川監査・樽本事務局)
  - ◇第10回正副会長会議(崇徳学園会議室)
  - ◇2011年度同窓会懇親会・懇親会の運営について
  - ◇2010年度決算・2011年予算について
  - ◇幹事の退任・選任について
  - ◇崇徳祭について
  - 11月3日 崇徳祭



2010年度大学・短大・専修学校合格状況

●難関国立大学合格者数

大学名	10	09	08
東京	0	0	1
北海道	1	0	2
名古屋	1	0	0
大阪	1	1	0
九州	1	0	0
神戸	1	2	2
筑波	2	0	0
東京工業	0	1	0
合計	7	4	5

●公立大学合格者数

大学名	10	09	08
首都大学東京	0	0	1
横浜国立	0	0	1
岐阜薬科	0	0	1
大阪府立	2	0	1
大阪市立	0	0	1
神戸市外国語	0	0	1
島根県立	0	1	1
岡山県立	0	0	1
福山市立	1	0	0
尾道	0	0	1
県立広島	3	2	3
広島市立	4	7	2
下関市立	2	0	0
北九州市立	2	1	0
長崎県立	1	0	0
合計	15	11	14

●文部科学省所管外大・学校

大学名	10	09	08
防衛大学校	2	0	0
合計	2	0	0

●国立大学合格者数

大学名	10	09	08
北海道	1	0	2
北見工業	0	1	0
筑波	2	0	0
筑波技術	0	0	1
茨城	1	0	0
埼玉	0	1	0
東京	0	0	1
東京学芸	1	0	0
東京工業	0	1	0
電気通信	1	0	0
横浜国立	0	0	1
富山	0	0	2
信州	0	0	1
名古屋	1	0	0
三重	1	0	0
滋賀	1	0	0
京都教育	0	1	0
大阪	1	1	0
神戸	1	2	2
鳥取	0	0	1
島根	0	0	2
岡山	1	0	0
広島	9	5	5

大学名	10	09	08
山口	9	5	7
愛媛	4	3	1
高知	0	1	0
九州	1	0	0
九州工業	1	2	0
長崎	0	1	0
佐賀	1	0	0
合計	37	24	26

●私立大学合格者数

大学名	10	09	08
札幌学院	9	0	0
道都	0	1	0
酪農学園	0	0	1
流通経済	0	2	1
上武	1	0	0
埼玉工業	1	1	0
東京国際	1	1	2
千葉商科	1	0	0
神田外語	0	1	0
国際武道	0	0	1
城西国際	0	0	1
帝京平成	0	2	0
青山学院	2	0	1
亜細亜	2	0	1
桜美林	0	2	0
学習院	0	4	0
北里	1	0	0
国立音楽	0	1	0
工学院	2	1	0
国學院	2	4	3
国士館	3	1	2
駒澤	1	1	1
芝浦工業	6	3	4
成蹊	0	1	0
成城	0	1	0
専修	7	6	6
創価	6	1	2
大東文化	1	3	2
拓殖	4	3	2
玉川	0	0	1
多摩	1	0	1
中央	2	3	6
帝京	2	2	3
帝京科学	1	0	0
東海	7	6	5
東京医療保健	1	0	0
東京聖栄	0	1	0
東京電機	1	1	2
東京都市	0	0	4
東京農業	3	6	3
東京理科	0	5	1
東洋	2	3	1
二松学舎	1	1	0
日本	7	14	9
日本体育	1	1	3
日本文化	0	0	1

大学名	10	09	08
文京学院	1	0	0
法政	7	7	6
武蔵野	3	0	0
明治	7	4	4
明治学院	0	0	1
明星	0	1	1
立教	0	1	0
立正	2	1	0
早稲田	3	0	1
神奈川	0	1	2
東京工芸	1	0	0
横浜薬科	1	0	0
関東学院	4	0	1
山梨学院	1	0	0
金沢医科	0	1	0
金沢工業	6	0	2
岐阜聖徳学園	1	1	0
静岡産業	0	0	1
愛知	0	1	0
愛知医科	0	1	0
愛知学院	0	0	1
愛知工業	1	0	1
愛知淑徳	0	0	1
愛知東邦	1	0	0
中京	5	7	2
中部	0	0	2
中部学院	0	0	1
名古屋外国語	0	0	1
名古屋学院	0	1	0
名古屋商科	1	1	2
日本福祉	2	0	0
南山	0	1	1
藤田健康衛生	0	1	0
名城	0	3	1
皇学館	0	1	0
大谷	3	0	0
京都外国語	3	0	0
京都学園	1	1	0
京都産業	8	3	6
京都精華	1	1	1
京都文教	0	1	0
同志社	13	9	16
佛教	2	1	1
明治国際医療	1	0	0
立命館	18	12	19
龍谷	33	14	32
大阪青山	0	0	1
大阪大谷	0	2	0
大阪学院	3	2	7
大阪経済	1	0	0
大阪芸術	0	1	0
大阪工業	1	1	1
大阪国際	1	1	0
大阪産業	2	4	1
大阪体育	1	0	0
大阪薬科	1	0	0

大学名	10	09	08
大手前	0	1	0
関西	18	11	8
関西外国語	2	2	1
近畿	18	9	11
摂南	2	2	2
帝塚山学院	0	0	1
阪南	2	0	3
桃山学院	2	0	3
関西国際	0	0	1
関西学院	10	4	8
甲南	1	2	3
神戸学院	2	1	1
神戸芸術工科	0	1	0
神戸国際	0	1	1
神戸薬科	0	1	0
宝塚造形芸術	0	0	1
兵庫	1	0	0
姫路獨協	1	0	3
流通科学	0	1	0
帝塚山	0	0	1
畿央	0	0	1
奈良	4	0	0
エリザベト音楽	0	0	2
近畿(東広島)	10	7	34
日本赤十字広島	0	1	0
比治山	11	6	1
広島経済	37	58	55
広島工業	85	32	63
広島国際	49	30	30
広島国際学院	6	3	2
広島修道	80	58	75
広島都市	0	1	0
広島文化学園	5	3	2
福山	3	2	1
福山平成	3	2	0
岡山商科	0	0	1
岡山理科	5	1	4
川崎医科	0	1	1
川崎医療福祉	1	4	1
吉備国際	1	0	1
くらしき作陽	2	0	1
倉敷芸術科学	2	1	2
就実	0	2	0
東亜	0	0	1
徳山	2	1	1
徳島文理	1	0	1
松山	2	5	1
九州産業	1	0	0
久留米	1	0	0
西南学院	0	1	0
中村学園	0	0	1
福岡	5	6	2
福岡歯科	1	0	0
九州保健福祉	0	2	1

●短期大学合格者数

大学名	10	09	08
比治山大学短期	1	1	0
広島国際学院自動車短大	1	0	2
広島文化学園短期	0	0	1
岩国短期	1	0	0

大学名 10:09:08

国立・公立等計 52:35:40

所管外計 2:0:0

私立計 596:437:517

短大計 3:1:3

総計 650:473:560



中 SOTOKU 中学校トピックス

テニス部

中学校テニス部が記録に出てくるのは、『学園誌・崇徳』第1号(昭和47年3月1日刊)からである。現在はテニス部であるが、当時は軟式庭球部であった。いわゆる硬式テニス部に名称を変更したのは昭和54年で、昭和53年から4年間顧問をされた山本元教諭が生徒の熱い要望を受けとめられて、動かれたのであろう。以降の部活動は途切れることなく順調に進んでおり、全国大会に出場する選手も現われている。

今回、テニス部は創部以来初めて第38回全国中学生テニス選手権大会の団体戦で県代表となり、中国大会に出場することができた。いわゆるジュニアで活躍する能力の高い選手で勝つのではなく、初心者から始めた選手も入り混じっての団体戦で代表になれたことは、これまでの活動が軌道にのっているのだと確信できた。代表になってからは、中国大会を意識して初めて早朝練習をしたり、サーフェスを考慮して校外のコート借りて練習することもできた。もちろん選手たちも技術を向上させチームとして一丸となるように努力をしてくれた。中国大会では、残念ながら初戦で敗退したが、記憶に残る暑い夏であった。(顧問)

2010 (平成22)年度の全国大会出場クラブ紹介

高/中	クラブ名	出場大会名
高           校	柔道部	2011(平成23)年度全国高等学校総合体育大会(団体・個人6名) 100kg超級 第1位 飯田健伍 81kg級 第5位 香川健吾 100kg級 第5位 筒井恵弥 全日本ジュニア体重別選手権大会(個人2名) 81kg級 第5位 野々内悠真 100kg超級 第2位 飯田健伍 平成23年度全日本カデ柔道体重別選手権大会 81kg級 第1位 野々内悠真
	剣道部	2011(平成23)年度全国高等学校総合体育大会(個人1名) 第58回高等学校剣道大会(個人1名)
	弓道部	2011(平成23)年度全国高等学校総合体育大会(団体) 第6位 第66回国民体育大会 遠的競技 第5位
	バレーボール部	第63回全日本バレーボール高校選手権大会 2011(平成23)年度全国高等学校総合体育大会 第66回国民体育大会 少年男子の部 第5位(10名)
	ラグビー部	第66回国民体育大会 第7位(4名)
	テニス部	第33回全国選抜高等学校テニス大会(団体) 第101回全国高等学校テニス選手権大会(個人1名)
	ボクシング部	2011(平成23)年度全国高等学校総合体育大会(個人4名) 第66回国民体育大会(個人2名) ライトウエルター級 第5位 森広一喜 ウエルター級 第5位 中林研人
	陸上競技部	2011(平成23)年度全国高等学校総合体育大会(1名)
	自転車競技部	2011(平成23)年度全国高等学校総合体育大会(1名) 第66回国民体育大会(1名)
	体操競技部	2011(平成23)年度全国高等学校総合体育大会(団体) 第66回国民体育大会(団体)
	水泳部	2011(平成23)年度全国高等学校総合体育大会(1名) 第66回国民体育大会(1名)
中学	柔道部	平成23年度全日本選抜少年柔道大会(個人・団体) 団体 第3位 個人 第3位 山下守彦



**関東支部 総会**  
平成二十三年度総会が、七月八日(金)に、東京都文京区の「ホテル機山館」で開催されました。

今回は、崇徳学園高橋理事長はじめ大本同窓会長、田部事務局長に近畿崇徳会から内田会長を迎えて盛大に開催されました。恒例の参加者全員でのスピーチなどで親しく懇談の華が咲き、連帯の輪の中で校歌斉唱と記念写真撮影で盛大に締めくくられました。



**近畿崇徳会 総会**

平成二十三年度総会が、三月二十七日(日)に大阪市中央区の中華料理「大成閣」で開催されました。

今回は、吉田校長をはじめ大本同窓会長、田部事務局長に関東支部から黒川会長、瀧口副会長を迎えて、全員合せて十七名が出席しました。お互い往年の話題に花を咲かせるなどして、和やかに歓談が進み、全員で記念写真を撮り、校歌を斉唱してお開きとなりました。

**支部だより**

## 世界に飛躍する同窓生

### 「音楽のある風景で広島の街を彩りたい」

ミュージシャン。上綱克彦 ライブカフェ・ジャイヴ



崇徳高校在学中から崇徳同級生の石井清登さんと共にバンド活動を続け、昭和50年に上京し、伝説のロックグループ『柳ジョージ&レイニーウッド』を結成し、キーボード、作曲を担当。解散後も『萩原健一』『甲斐バンド』『クリエーション』『和田アキ子』等々のレコーディング、ツアー、作曲、等の多彩な音楽歴を持つ上綱克彦さん(昭和47年卒)。

「在校当時はバンドをやっているのは不良という風潮で、学校にはバンドをやっているのを内緒でコンテストや演奏会に出なきゃいけなかった。まあ、こっちは負けじと、高校生の分際でビヤガーデンに出演したり、長髪禁止で襟足が2センチでもアウトなのに、肩まで届く長髪で開き直ったから、どっちもどっちか」と時代を懐かしんで笑う。

現在も精力的にミュージシャン活動を続ける傍ら、広島の中新地にて『ライブカフェ・ジャイヴ』を経営。全国から著名ミュージシャンが多数来演し、自らも出演、夜ごと弾き語りも披露する。

昭和50年、カーブ悲願の初優勝の年に上京し、あの日、広島市民球場と化した後楽園球場の現場で目撃しただけに、筋金入りのカーブファンで、更に我々が母校崇徳の甲子園制覇と続いて狂喜乱舞。故郷広島への愛着は並々ならぬものがあり、意外なところでは高須小学校の校歌、お好み焼き応援ソング『へらへらへら』の作曲も。音楽を通じて広島への恩返しに文化的貢献が出来れば、と語



## 崇徳祭

毎年恒例の学園行事「崇徳祭」が、秋晴れの十一月三日(水)に盛大に開催されました。

今年も同窓会が出店

今年の学園祭テーマ「一人一人が輝く瞬間(とき)」にふさわしく、中高校生のはちきれんばかりの若い情熱が眼に眩しいほどでした。

さて今年も同窓会として、PTA販売ブースの隣にポップコーンと綿菓子の模擬店を出店し、役員及び幹事七名が販売に汗を流しました。慣れない手つきではありましたが、現役保護者と和気藹々に、また、スリムマフラータオルの販売も、PTAバザーコーナーに設置し大好評を博しました。

一方、同窓会イベントとして、同窓会懇親会でもお馴染みのプロミュージシャン RYOさんが、会場内を移動しながらのマジックショーを行い、1999年度卒業生で、地元広島のみならず全国的に活躍するミュージシャン HIPPY(イシカワ ヒロキ)さん、が体育館ステージでのライブコンサート行うなど、文化面においても同窓会の存在感を多に発揮しました。崇徳祭への出店も回を重ねて定着しつつありますが、これからも同窓会としてできる限り学園の諸行事に積極的に参加し、生徒、教職員、保護者との交流を深め、同窓会への理解と協力を深めていただく努力をしていきます。

### ホープ

北九州大学を卒業後、1985年TENTAX(現RICOH)に入社。海外営業部でアジア、東欧などを担当しました。業務に支障を感じながらも、辞め取れず苦戦しました。そんな中で、粘り強く交渉するうちに、面談を成立させました。この経験は今でも役に立っています。

半田社を経て、1972年に父が創業した力組カメラメーカーの当社を継ぐため、2003年に帰国。ネット経由で遠隔操作できる映像監視システム「オウダサーバー・ボックス(OS Box)」を開発しました。新視のカメラを導入する必要がなく、既存のカメラに対応。日常の風景から特定の物体のみを抽出したり、通り過ぎた人算や車

奥田 企三宏 氏(現) 東洋紡績社長

どを数える検数も付けることができます。大学メーカーと同じ方向性では難しい。同業意識は常に持ち、旅行期間を重ねて技術力を高め、高性能な商品を造り続けたい。企業顧問などに就任する際もカメラを手助けしてきましたが、最近では官公庁への納入実績も増えています。初回、面談時担当役員に納入するまで、会社情報や実績、身元なども併せて厳しく調査されました。納入できたときは弊社と商品が認められたのだと、うれしかったです。11年3月に社長就任。今年も東京営業本部などへも特許カメラを導入しました。長年蓄積したカメラ技術を生かし、今後も機能を充実させ、用途に応じたソリューションを提案していきます。

奥田企三宏さん(平成3年卒) 平成23年10月13日号 広島経済レポートより







崇徳学園同窓生の皆さんがさまざまな業界や地域で活躍されています。今回も頑張る同窓生をご紹介します。いただきます。

## 生活総合サービス業(あらゆる住環境ニーズに対応)を通じて地域に貢献

(有)松田不動産は戦後初代社長(松田 仁作)が創業。現在、私が三代目で、不動産の賃貸仲介・管理・売買・駐車場事業・保険代理店業務を軸に生活総合サービス業として地域密着の事業を行っております。現在の地で私も生まれ育ち、私の父二代目(松田 巖)が昭和58年、松田電機商会(家電事業)を廃業し後を継いだ。商号を変更して(旧)松田商事)現在に至っています。初代社長は永年業界の仕事に携わりながら、昭和58年、勲五等瑞玉章をいただきました。

住まい全般に関するいわゆる町医者として地域の世話役という位置づけで商売させていただきながら、別の事業としては駐車場事業立休駐車場の運営管理を広島市内4ヶ所(141台)とコインパークを8ヶ所(61台)を運営し人と車、生活と地域を結ぶコミュニティサービスも展開しております。(広島県 1分課金 100円3ポイント500ポイント貯まれば500円のクーポン券発行し近隣の提携店で利用できる立休駐車場のP.C.L.U.Bサービス)この事業は平成18年広島県の経営革新認定事業に認定されました。生まれ育った町・広島を元気にしていきたいと考えています。

高校時代はアメリカンフットボール部に所属、当時は広島に3校加盟しており総当たり戦で関西大会・全国大会のキップを争って凌ぎを削っておりましたが、当時は圧倒的な強さで崇徳高校が優勝しており勝つ喜びを学びました。その当時の仲間とは現在でも付き合いがあり一番の思い出です。当時の顧問が田部先生で我々の代にはかなり手を焼いたと思いますが現在では同窓会事務局と幹事の立場でお付き合いさせていただいております。社会に出てみて思ったのが、地元広島で経営者として誇りを持っているにはびっくりしました。崇徳の卒業生として誇りを持って社会

人生活を送らせてもらっており感謝しております。現在の趣味ですが夏の一時は高校野球観戦です。甲子園予選の広島県大会(今年はほぼ全戦母校は観戦しました。)残念でした。是非来年は甲子園に行つて欲しいですね。現在崇徳高校同窓会の幹事(新睦委員長)をさせていただきますが出身者の関係が親密になれるよう努めて頑張っていきたいと思っております。



### 有限会社 松田不動産

代表取締役 松田 宜久 (昭和61年度卒)  
広島市中区玉町8-9

電話 (082) 244-0425  
URL <http://www.matsudafudousan.co.jp/>

## 東日本大震災にもなう 身元確認作業宮城県派遣に参加して

(震災被害者身元確認のための歯科医師の取り組み)



災害時に歯科医師会会員歯科医師として協力できることに、救急歯科診療、犠牲者の身元確認の作業、被災地全域(特に避難所)施設などでの口腔衛生管理があります。平成23年3月11日午後2時46分頃、マグニチュード9.0の地震が発生し、多くの犠牲者が発生しました。私は今年4月、広島県歯科医師会遺体確認チームの一員として現地へ赴きました。そこで被災地での歯科医師の取り組みの一つ、「犠牲者の身元確認作業」について紹介させていただきます。事件・事故などで身元不明の死者が発生した際、歯科医師は、検視を行う警察官や医師の要請を受け、検視の補助行為として歯科所見などを活用した身元確認

作業を行います。東日本大震災発生直後の3月14日、警察庁から日本歯科医師会・広島県歯科医師会を通じて身元確認作業への協力依頼がありました。発災から約一か月後の4月8日から一週間、被害の大きかった宮城県の遺体安置所へ赴き身元確認作業に携わりました。余震も続く中無事帰ってこられるのか。任務を完璧に遂行できるのか。当時はまだ現地への交通手段が限られており現地の情報も少なく、不安と隣り合わせの出発となりました。また、一週間診療所を休診しなければならぬという状況もあり、不安と隣り合わせの出発となりました。実際の被災地に立ち入るとTVや報道写真で見ている感じとは全く異なり、想像をはるかに超えた過酷な状況下での活動となりました。町並みは消え、風が身元確認した時に聞こえませんが、安置所では発災後遺体を連日尋ねて歩いている遺族の首を確かした時に口にいれる「助けてあげられなくてごめんね」の言葉を耳にするたび、一瞬作業の手が止まり心と頭の切り替えが必要となりました。ご遺体に関わる仕事は一般の方には知られていませんが、現場にいるといかに大変かわかります。厳しい作業を強い使命感を持って行う警察官、自衛官、消防官の方たちの頑張りに本当に頭が下がりました。崇徳学園同窓会の方々の中にも行方不明者の捜索や町の復興・復旧に携われた方は多くおられることと思います。



片山歯科医院 片山 淳 (昭和51年卒)

視作業は、被災者の方の命を救うための活動ではありません。ですが、ご遺体に家族の元にもうたたくこと、そしてご家族をはじめ親類縁者の方たちに囲まれた中で送別の儀式を執り行われるというご遺体の尊厳を守るために、そのために少しでも役立つことができれば、家族の悲しみを少しでも癒すことにつながるといふ思いで行ってまいりました。今回の地震においてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様のご健康と一日も早い復興・復旧をお祈り申し上げます。

★頑張っています。文化部……

SOTOKU

新聞部顧問 花岡健吾

新聞部

新聞部は現在高校二年生10名で活動しています。部員が近年になく多いため記事を書く機会が減るということもあって、例年学期ごとに発行している崇徳学園新聞を現在は定期的考査(年5回)のペースで発行しています。今春発行した第202号は中国新聞社主催の第11回「みんなの新聞コンクール」で入選を果たしました。私は新聞部顧問になってから三年目ですが、現在まで数多くの部員に支えられてきました。制作にあたっては、せっかく高校生が作るのですから出来る限り「高校生ならでは」になるような新聞作りを心がけています。大淵高校訪問や西本願寺で行われた親鸞聖人750年大遠忌法要、また夏のオーストラリア留学にも部員が参加してくれたということもあり、そのような貴重な体験をしてくれた生徒の生の感想を積極的に紙面で届けるように記事作りをしています。

紙面上では、各運動部の大会結果を中心に、学園の出来事を「生徒からの目線」で報道することを特に意識しています。また学園内だけでなく校外へも積極的に出て、様々な見聞を広げる活動も行っています。最近では、東日本震災直後の諸々の出来事を受けて、春休み中に東広島市の「中国電力エネルギー総合研究所」と「サタケ」の見学取材を行いました。エネルギー総研では中国地方の電力供給を安定化するための様々な取り組みを取材し記事にしました。サタケでは事故直後の福島原発で食べられていたマジックライスの生産現場や、マツダでも採用されている廃ハンパ再生技術の取材をし、記事化しました(自画自賛になりますが、同内容の記事は朝日新聞の8月25日付朝刊でも記事化されましたが崇徳学園新聞はそれより二ヶ月には記事にしてみました)。

また、正規のクラブ活動とは異なりますが、新聞部員有志でチームを作り、「高校生クイズ」に、取材を兼ねて参加しました。その結果、広島学院・広大附属・附属福山・AICJと並び、我が崇徳高校新聞部チームも広島地区決勝に進出することが出来ました(ちなみに優勝校の附属福山をはじめ、本校以外のチームは全てクイズ研究会に所属している生徒だったらしく、残念ながら健闘空しく決勝で敗退という結果に終わりました)。

現在は、立命館大学薬学部の新村教授との共同研究公募に採用されたため、本校の土壤の生息する微生物を調べていた、たくという企画が進展中です。結果が判明し次第記事化して、新聞上で紹介したいと考えています。

このように文化部とはいえ出来るだけ積極的に活動できる新聞部を目指して日々研鑽を重ねています。しかし、目下高校二年生のみが在籍のため、来年度後半には部員がいなくなってしまうことも想定されます。OBの皆様のご子息に中高在籍中のご子息がいらいしゃいましたら是非とも新聞部入部を勧めただければ、と切に願っております。

★ガンバレ！崇徳健児！

9月下旬に広島県中学校総合体育大会(剣道の部)が、庄原市総合体育館(さくらアリーナ)で行われた。

広島市総合体育大会で主将岡本健一(3年)が優勝し、県大会への出場を果たした。本大会への出場を果たすことの出来ない部員の期待を背負いながら、大会でベストを尽くせるよう日々の稽古を積んでいた。

試合当日はリラックスしており、集中した状態で第一試合を迎えられた。所詮は硬くなりがちですが、落ち着いて二本勝ちし、その後も勝利を続け、準決勝までコマを進めた。対戦相手は、八本松中学校小早川亮選手でした。苦戦を強いられる相手ですが、2年生には負けられないという気持ちで臨み、延長の末、勝利し、一昨年県大会2位の藤原大輔に肩を並べた。

決勝は、黒瀬中学校大下大輔選手との対戦でも、お互い集中を切らずに延長に入り、一瞬の隙をついて小手を取り勝利を手にした。

ファイト！ 剣道部



岡本は、高校になってもこれまでのように目標に向かって日々精進し、それを結果として残すことのできる選手である。高校では、中学で果たすことのできなかった全国大会に出場するなど、さらなる活躍に期待する。

剣道部 中学校顧問 須山浩司

編集後記

この度から「同窓会だより」を担当することとなり、取材から記事の編集にまでかわらせて頂き、多くの同窓生の皆さんが各方面で活躍をされているお姿に、大変心強くさせて頂きました。さて、今年には東日本震災において、甚大な被害が発生し、これからの復興には国民全員が協力し合わなくてはならない事を実感しました。また今年には宗祖親鸞聖人の七十五回大遠忌の年にあたり、今一度、聖人の「世の中安穏なれ」の思いにふれながら、報恩感謝の生活を送りたいものがございます。同窓生の皆様におかれましては、益々のご清祥とご活躍を心より念じますと共に、本校並びに同窓会の更なる発展にご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。